

平成25年度 筑前町社会福祉協議会事業報告書

総括的概要

少子化・高齢社会の進展で社会構造も変容し、相互扶助や地域活動への参加意識の希薄化が進み福祉のあり方も変化してきています。

地域に密着した福祉サービスに重点を置き、地域生活の質を高めることを目的としたサービスを、行政、区長、民生委員・児童委員、老人会、ボランティア等との連携を図りながら、地域社会に求められる社協、信頼される社協を目指して福祉事業の推進に努めてまいりました。

また、厳しい財政状況にある中、社協事業の今後のあり方についての課題を抱えながらも、効率的な事業の運営に努めてまいりました。

その他の福祉事業においても、ボランティア団体等の役割が重要視されています。町においてボランティア活動推進計画が策定され、ボランティアセンター開設にむけて協議を進めてまいりました。

事項別状況

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

名 称	期 日	内 容
第1回理事会 第1回評議員会	4月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事・監事の就任について ・会長・副会長選任について ・理事・監事・評議員・福祉委員の承認について
監査	5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度決算監査
第2回理事会 第2回評議員会	5月27日 5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告の認定について ・平成24年度収支決算書、財産目録及び、貸借対照表の認定について ・平成25年度補正予算について
第3回理事会 第3回評議員会	8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度赤い羽根共同募金運動について ・平成25年度敬老の日記念品贈呈について
監査	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度前期監査
第4回理事会 第4回評議員会	3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度補正予算 ・平成26年度ボランティアセンター運営事業について ・平成26年度事業計画（案）について ・平成26年度予算（案）について ・筑前町社会福祉協議会嘱託職員（事務局長）

		の取扱規程（案）について
--	--	--------------

(2) 福祉部会

- 福祉部会(全体会) 6月7日
各部会の役員選出・事業計画
- 民生部会 8月23日
平成25年度赤い羽根共同募金、敬老の日記念品贈呈について
- 保健部会 10月24日
①重度障がい者遠足会について
②筑前町障害者福祉大会について

(3) その他職員研修等

①高齢者福祉事業

支え合いマップ・インストラクター養成研修 (6月2日、20日、7月17日、18日、9月11日)	6月 2日
ひとり暮らし高齢者見守り活動推進員養成研修	2月17日

②青少年福祉事業

児童虐待防止研修会	11月18日
福祉教育セミナー	1月21日
子育て支援研修会	2月13日

③障がい者福祉事業

朝倉地区障害者自立支援部会子ども支援部会、研修 (4月19日、6月28日、9月20日、11月15日、2月21日)	4月19日
療育セミナー	7月26日～27日
障害者相談支援従事者専門コース研修	9月28日～29日
聴覚障がい者フォーラム	9月29日
福岡県障害者虐待防止・権利擁護研修	11月28日
障害者総合支援法における障害支援区分認定調査員研修	2月21日

④ボランティア福祉事業

地域ボランティア担当職員研修	12月13日
きずなフェスタ	2月16日

⑤広報活動

広報誌作り研修(2月22日、3月1日)	2月22日
---------------------	-------

⑥地域福祉事業

福岡県地域活動職員連絡会、各種研修(6月1日、9月4日)	6月1日
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会、研修 (4月17日、9月13日、11月22日、1月31日)	4月17日
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会主催	6月 9日

災害ボランティアセンター設置訓練	
地域防災ネットワーク確立プロジェクト	10月27日
九州4県合同社協職員研修会（長崎県）	11月1日～2日
災害ボランティアセンター設置訓練	12月7日～8日
両筑地区社協全体会	2月 8日
社協で支える成年後見研修会	2月15日
災害ボランティアセンター連携研修会	3月15日

2. 高齢者福祉事業

(1) ふれあいいきいきサロン

地域の高齢者ひとりひとりが健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも楽しくいきいきと暮らしていくことを応援する活動です。

① 実施状況

- ・実施区 32地区
- ・参加登録者数 1,076人
- ・延べ実施回数 321回
- ・延べ参加者数 6,335人

〈平成25年度区別実績と参加者数〉

単位：人

区名	65歳以上	65歳未満	合計	開催回数	延参加者数
大塚	15	3	18	10	94
弥永	36	2	38	8	130
依井	43	3	46	11	259
依井二	41	8	49	13	318
高田	45		45	12	269
新町	53		53	7	132
原地蔵	16	1	17	9	140
久光	36	4	40	11	209
栗田	62	7	69	8	227
森山	23	3	26	7	112
当所	24	2	26	11	155
上高場	37	4	41	12	266
大久保	6	1	7	7	34
山隈	30		30	10	231
高上	22		22	12	158
朝園	29	8	37	12	263
砥上	22	3	25	12	206

松延本村	27	1	28	10	199
松延新道	22	2	24	11	169
石櫃	4		4	2	8
中牟田村	39	7	46	11	322
朝日東	20		20	12	174
朝日西	37	1	38	10	287
二	28	2	30	12	237
篠隈	35	16	51	9	239
篠隈新道	33	5	38	11	297
東小田上	18		18	10	159
東小田下	17	1	18	11	124
福島	26	7	33	12	307
四三嶋	11	3	14	12	131
下高場	84	6	90	10	360
安野	31	4	35	6	119
合計	972	104	1076	321	6,335

*開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

○小学生との交流会

夏休み期間中に PTA 等の協力により 10 地区が小学生との交流会を実施しました。創作で、「オンリーワンうちわ」を作りました。

小学生 134人 PTA 等 41人 の参加がありました。

○健康講座等について

各サロンで各種講座や、行政からの説明がありました。

- ・口腔ケア教室 9地区
- ・安心安全の話 6地区
- ・朝倉警察署交通課 2地区
- ・包括支援センター 9地区
- ・ちくちゃんバスの説明 10地区

○野外活動について

春や秋に花見などの野外活動を行いました。

- 4月・・・ 6地区
- 5月・・・ 5地区
- 10月・・・ 14地区
- 11月・・・ 2地区
- 3月・・・ 1地区

② ふれあいいいききサロン代表者会議

各区のサロンが円滑に継続できるように3回実施しました。

期 日	参加者	内 容
4月11日	51人	・25年度年間計画・助成金交付

10月29日	56人	・前期活動報告（4月～9月） ・合同交流会について
3月4日	40人	・25年度事業報告及び26年度の取り組みと事業計画について ・サロンについての各区からの要望について回答 ・健康講座「介護予防音楽療法」実演

③ ふれあいいきいきサロン指導員研修会

- ふれあいいきいきサロンで17人の指導員が活動しています。

ガンバルー福岡の下釜純子さんを講師に高齢者の運動指導について学びました。

11月18日 12人参加 ・ 12月16日 13人参加
1月20日 12人参加 ・ 2月17日 11人参加

- 福岡県社会福祉協議会主催の「いきいきサロンで元気高齢者セミナー」に参加しました。

3月3日（月） 福岡国際会議場 8人参加

④ ふれあいいきいきサロン合同交流会

他地区の会員との親睦と、地域の連携を深めることを目的に合同交流会を開催しました。

1班 12月2日（月） めくばり館 7区 149人
2班 12月5日（木） 篠隈区公民館 6区 134人
3班 12月9日（月） めくばり館 8区 175人
4班 12月12日（木） 篠隈区公民館 9区 173人

(2) ひとり暮らし高齢者のつどい

70歳以上の一人暮らしの方を対象に、閉じこもりの解消、生きがいつくり、交流を図る事を目的に開催しました。

・宗像市「神湊」に行きました。 9月18日 47人
9月26日 28人

(3) 敬老の日祝い事業

敬老の日の祝いとして、白寿（99歳）と米寿（88歳）の方へ記念品として、商品券を贈りました。

白寿 16人（10,000円） 米寿 135人（5,000円）

(4) 金婚祝い品配布事業

今年結婚50年を迎えられた新会員30組に記念品とお祝い状を、お届けいたしました。

3. 青少年福祉事業

(1) 小・中学生福祉施設ふれあい体験学習

この体験学習は、高齢者や障がい者との出会いと交流を通して、子どもたちに思いやりや、ボランティアの心を育てていくことを目的としています。

①小学生福祉施設ふれあい体験学習

月 日	施設名	参加児童数
7月22日(月)	菊水苑	3人
7月29日(月)	朝老園	4人
7月30日(火)	朝倉苑	4人
8月12日(月)	城山荘	9人
8月20日(火)	ほっとスペースあさくら	2人
8月21日(水)	菊池園	10人
8月21日(水)	サンビレッヂ朝日ヶ丘	5人
8月23日(金)	第二野の花学園	5人
参 加 合 計		42人

②中学生福祉施設体験学習

月 日	施設名	参加生徒数
7月24日(水)	サンビレッヂ朝日ヶ丘	3人
7月24日(水)	菊池園	6人
7月30日(火)	朝老園	2人
8月9日(金)	第二野の花学園	2人
8月19日(月)	菊水苑	6人
8月20日(火)	朝倉苑	6人
8月23日(金)	城山荘	2人
参 加 合 計		27人

(2) 親子で防災体験にいこう！

福岡市民防災センターで災害の怖さや、災害への対応の知識を実際に体験して身につけ、また参加者自身が今回の体験を地域の発信役として災害対策が地域に根付いていくことを目的に開催しました。

10月5日(土) 参加者 親子 29人・部会等 6人

(3) 社会福祉協力校への支援

①三輪中学校1年生「福祉ふれあい体験学習」事前学習での講義

今年度より三輪中1年生(128人)が、授業の中の1つとして「福祉ふれあい体験学習」を施設にて行うにあたり、その前段の事前学習での講師依頼が社協にありました。「社会福祉協議会の事業」と「施設に行くにあたって知ってもらいたいこと」を中心に9月12日(木)に職員2人で講義をしました。

②三輪中学校「地域公開授業及び地域とともに行う防災教育」での講義

11月16日(土)、全校生徒で実施された上記防災教育で、1年生(128人)に「災害の怖さ～要支援者の気持ちになって～」をテーマで講座を行いました。「命(いのち)のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11」を上映後、アイマスクを装着しての情報収集の難しさと歩行体験を行いました。

4. 障がい者（児）福祉事業

障がい者（児）の自立と社会参加の促進、各種行事の参加推進を行い、交流の機会をつくりました。

（1）筑前町障がい者福祉大会

在宅障がい者が地域における社会参加の必要性を考え、障がい者同士の交流を深め、情報提供の機会を提供することを目的に開催しました。

11月20日（日） コスモスプラザ会議室1・2・3

障がい者福祉施設概要説明

施設入所支援：菊池園

通所支援施設：ほっとスペースあさくら

福祉サービス利用者体験発表

菊池園入所者

ほっとスペースあさくら（就労継続B型）利用者

（2）重度障がい者遠足会

日頃一人での外出が困難な介護が必要な障がい者を対象に、外出の機会づくりと障がい者間、世代間の交流を目的に開催しました。

11月 8日（金）

サッポロビール日田工場見学 参加者 39人

（3）在宅介護者のつどい

在宅で介護している介護者の情報交換の場となり、同じ悩みをもつ者同士が交流し日頃の疲れをリフレッシュする事を目的に開催しました。

そったく基金を活用（町より受託）し外出事業を行いました。

1回目：宗像市（宗像大社、神湊、道の駅むなかた

7月16日（水） 参加者19人

7月19日（金） 参加者18人

2回目：糸島市（紅葉狩り、伊都菜彩）

11月13日（水） 参加者18人

11月21日（木） 参加者18人

（4）車椅子等の福祉機器貸し出し

年間実績 ・車椅子49件・電動ベッド11件・シャワーキャリー3件

5. ボランティアの育成、支援事業

（1）ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会運営委員会を中心に各グループ間の交流や、お互いの活動を理解しあい、構成団体同士の信頼関係が深まりました。

年間7回 運営委員会を開催し、各グループの活動や問題点などの共有や、ボランティア連絡協議会主催事業として、講座等の企画立案から実施を行いました。

また他機関からのボランティア要請などの情報を提供しました。

(2) 筑前町ボランティアのつどい

筑前町ボランティア連絡協議会との共催で、「ボランティアでつながろう」をテーマに、ボラ連登録会員と町で活躍しているボランティアグループ、ボランティアに関心のある人が一同に会し、町作成のボランティア推進計画についての報告とボランティア同士の交流会を行いました。

2月 2日(日) 男女共同参画センター「リブラ」

参加者 113人

(3) ボランティア講座 第1弾(ボラ連講座)

「災害を知る」をテーマにボランティア連絡協議会会員を対象にNHK放送局では、地上デジタル放送からの災害情報等の入手方法を学び、午後から福岡市民防災センターで強風体験・地震体験・消化訓練・火災体験を実際に体験し、災害の怖さや、緊急時の対応について学びました。

7月19日(金) 参加者 42人

(4) ボランティア講座 第2弾(ボラ連講座)

「災害ボランティアと筑前町の災害対応について」をテーマにボランティア連絡協議会会員を対象に、福岡県社会福祉協議会と筑前町環境防災課を講師に講演会を開催しました。また社協より災害ボランティアセンター運営について説明をしました。

10月19日(土) コスモスプラザ 視聴覚室

参加者 52人

(5) 手話講座

聴覚障がい者を講師に、手話の会が通訳として手話講座を開催しました。

5月より10月までの半年間、毎週開催しました。今年度は、4人が修了証を受けられ、次の段階にチャレンジする方や筑前手話の会に加入されて活動している方がおられます。

(6) ガイドボランティア講座

筑前町盲人会の協力を得て、公共機関を使って、クローバープラザへの往復時のガイドを行う現場研修を行いました。

6月14日(金) 盲人会7人 ガイドボランティア6人 計13人

6. 母子・父子・寡婦福祉事業

(1) ひとり親家庭のバスハイク

親子のふれあいと交流及び情報交換を目的として開催しました。

9月22日(日) 熊本県玉名市「水本オレンジガーデン」

みかん狩り、パン焼体験 参加家族 7組(17人)

(2) 白百合会のつどい

夫と死別又は離別された当時、15歳以下の子どもを扶養され25年以上経過さ

れた寡婦の方々が会員となり、苦労話をまじえながら交流を行いました。

2月28日（金） 男女共同参画センター「リブラ」

体験談・講話・交流会 参加者35人

7. 受託事業

(1) 敬老館運営管理事業

一般住民及び高齢者に、教養の習得・レクリエーション等のための場（平成25年12月より大広間で演芸や講座など月1回のイベント）を提供することにより心身の健康増進を以って福祉の向上を目的としています。

①入館者数

	年 間
会館日数	299日
入館者数	14,291人

・午後2時30分にラジオ体操を館内利用者に呼びかけ実施しています。

② カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ (件)		訓練器具 (人)		
	町内	町外	ハッピーライフ	太陽灯	ホクシンヘルサー
年 間	542	2	189	0	341

(2) 敬老館食堂事業

地元の野菜・米を使用し、日替わり弁当のメニュー表には、利用者の健康管理の参考にしていただくためカロリーや塩分量を記載し利用しやすいよう工夫しました。

サロンや団体の予約を受付たり、ぜんざい・ソフトクリームなどデザートの上げが好調でした。

月間売上実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	425,030	432,200	441,600	509,150	434,740	469,260
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	442,010	472,390	678,210	376,890	431,220	419,710
					合 計	5,718,690

(3) 福祉配食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者や障がい者に対して、(昼食、夕食)の弁当を届けると共に、利用者の安否確認を行いました。

社協職員が定期的に利用者宅を訪問して給食に対する意見や状況確認などを行っています。

毎月10日前後を集金日とし利用者宅を訪問しています。

福祉課主催の調整会議などの各種会議へ参加し、利用者の状況等を関係機関で情報交換し、それぞれの立場でのサービスの向上に努めています。

(調整会議・・・月1回 介護予防会議・・・月1回)

配食サービス実績 (配食日数 361日)

単位：食

月	月利用者	食数	月	月利用者	食数
4月	63人	1,835	10月	62人	1,901
5月	61人	1,816	11月	65人	1,898
6月	62人	1,869	12月	62人	1,826
7月	62人	1,919	1月	60人	1,752
8月	62人	1,848	2月	59人	1,702
9月	66人	1,888	3月	62人	1,863
		月平均	62人	合計	22,117

(4) 放課後児童健全育成事業 (学童保育運営)

①入所児童数

単位：人

	みわっ子 SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り
1年	26	17	17	18	9	11
2年	22	16	14	10	15	11
3年	9	9	13	11	3	2
4年以上	1	0	3	0	1	1
合計	58	42	47	39	28	25

②夏休みのみ受け入れ

すくすくクラブ 4人

③保護者会・役員会等の開催

各学童で行われている保護者会や、保護者役員会への参加

④指導員の育成

- ・各学童での指導員ミーティング 毎月
- ・主任ミーティング 年2回
- ・全体ミーティング 年1回
- ・学童関係者研修会 (救命救急講習会) 18人参加
- ・こども支援部会研修「発達障害や気になる子ども達を考える」 12人参加
- ・ミニ講座「筑前町のスクールソーシャルワーカーの仕事を知ろう」 11人参加
- ・平成25年度 放課後児童指導員等研修会 4人参加
- ・こども支援部会「ケース検討会」 10人参加

(5) コミュニケーション支援 (筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業)

障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に手話通訳者等の派遣を行いました。

利用登録者 12人 通訳登録者 10人 利用実績 53件

(6) 障害者相談支援事業

障がい者や介護者等からの各種相談に応じ必要な情報提供や助言を行いました。

① 相談業務

(利用者数) 精神 139件・知的95件・身体390件・その他12件
 男性 416人 女性 220人

延べ総数 636件

② 障害程度区分認定調査

区分 57件 (区分認定調査1回/3年)

居宅 52件・児童 26件 (日常生活状況1回/1年)

総計 135件

8. 相談事業

(1) 心配ごと相談

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努めました。

毎月第2、第4金曜日の午後1時30分から午後4時まで、コスモスプラザ保健館の相談室で実施しています。

相談員 民生委員 4人 調停相談員 4人 人権相談員 7人
 行政相談員 2人 母子相談員 1人

相談実績 42件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	4	0	9	4	1	1	3	2	2	3	5	8	42

相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計	1	1				
年 金	1					1
生 業・職 業	2				2	
住 宅	1				1	
家 族 (嫁姑問題)	3	1			2	
結 婚	0					
離 婚	5	2			2	1
健康・衛生	1				1	
医 療	2		1			1
精神衛生	1				1	
財 産 (相続、財産分与)	7	1			4	2
事 故	5		2		1	2
心身障害者 (児) 福祉	0					

老人福祉	1				1	
苦情 (近隣のトラブル)	5	1		1	2	1
その他 (健康食品被害、後継者問題、インターネット問題)	7	2			4	1
合計	42	8	3	1	21	9

(2) 相談員研修会

福岡県法律相談合同研修会

10月25日(金) 福岡市健康づくりセンター (あいれふ)

高齢者を巡る種々の法律問題

講師 福岡県弁護士会 弁護士

筑前町相談窓口情報交換会

11月28日(木) コスモスプラザ会議室A

相談業務の相談体制及び窓口の連携の必要性

(3) 日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に、福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いをします。

平成25年度利用者	高齢者	2人
	知的障がい者	1人
	精神障がい者	3人
	計	6人

9. 貸付事業

(1) 福岡県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

平成25年度貸し付け申込相談件数	22件
貸付決定	
教育支援資金	3件
福祉資金貸付	2件
緊急小口資金	3件
計	8件

10. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金運動

毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。

配分金は翌年度の事業費として、地域福祉活動の貴重な財源となっております。

募 金 額

募金内訳	目安額	実績額	内訳
戸別募金	5,230,800	4,966,851	51区

企業募金	1, 550, 000	1, 526, 325	334件
個人募金	680, 000	661, 252	289件
学校募金	20, 000	24, 964	町内小中学校
団体募金	380, 000	319, 002	老人クラブ その他
資材募金	273, 100	296, 400	バッジ(ピン) 50個 バッチ(タイタック) 10個 図書カード 220枚 クオカード 400枚
その他募金	120, 000	59, 420	街頭募金 どーんとかがし祭り 窓口募金・利息
募金総額	8, 253, 900	7, 854, 214	

1 1. 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報提供を行いました。

- (1) 「ちくぜん社協だより」を年4回(5月・7月・10月・1月)発行し福祉事業内容の紹介や情報提供を行い啓発に努めました。
- (2) 町が発行する「広報ちくぜん」に毎月情報を掲載しました。
- (3) 5月から新たな情報発信としてホームページを開設しました。
- (3) 「共同募金だより」を3月に発行し、25年度の募金実績を報告し、募金をいただいた企業、個人のお名前を掲載しました。
- (4) 赤い羽根共同募金については、チラシを作成し募金活動を開始する10月に全家庭に配布をしました。募金の使途、活動の理解とご協力をお願いしました。
- (5) 心配ごと相談や各種つどいの開催等の案内を町内放送にて適時に行い情報の提供、参加の呼びかけを行いました。
- (6) 社協だよりを朗読ボランティアに委託し、「声の社協だより」として、視覚障がい者・施設等へテープを送信し情報提供を行いました。